

応援の声続々



全国模試終了も練習に励む



1月23日(金)、本校野球部が第81回選抜高校野球大会の「21世紀枠」に選ばれ、甲子園への出場を決めた。決定から1日たち、部員達は今日も練習に励んでいた。

出場決定から1日たった24日は全国模試の試験日だった。もちろん野球部員も例外なく模試を受けた。試験終了後はグラウンドに集まり冬の晴れの空の下、練習に励んでいた。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

努力の「軌跡」を信じて

そんな中、応援メッセージが寄せられている。野球部の前主将の長谷川隼也君(3-1)は「21世紀枠の出場ということで、後輩達の実力はもちろんですが、これまでの野球部

部の歴史の中の先輩方の実績の積み重ねが『センバツ出場』に繋がったと思う。野球部の歴史の中の1人として、自分も甲子園に出られるような気持ちで、とてもうれしいです。出場は決して『奇跡』ではない。今までの努力の『軌跡』を信じて、強豪校をぶっ倒された。

段5人とも優しい生徒なので、野球をしている雰囲気を見るのがたのしみ」と応援のメッセージを下さった。また、2年6組のある生徒は野球部員について「(野球部員は)体も心も鍛えられているメンバーです」と力強いコメントをくれた。



野球部の3年生部員

!!」とコメントしてくれた。また前主務の虎山駿太君(3-1)は「センバツ出場おめでとうございます!! 甲子園で勝負できる喜びを感じ、今、ここで『勝利を目指して邁進できるよう精一杯プレーして欲しいと思います』とコメントしてくれた。

主将の新谷君、エースの金子君など、クラスに5人の野球部員がいる2年6組担任の西村千春先生は「クラスに野球部が5人も集まっているので、応援に一層力が入ります。普